

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年11月14日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	4号機	直流125V所内低圧電源設備配電盤(パワーセンター)しゃ断器点検において、しゃ断器の接続位置を検出するスイッチの内部部品の破損により、しゃ断器を投入できなかったことが認められたため、当該破損部品を交換。	GIII	11月10日
2	4号機	非常用ディーゼル発電設備(B)清水加熱器の点検復旧において、清水加熱器ポンプの操作スイッチに動作不良(「切」位置から「自動」位置及び「入」位置へ操作した際に引っ掛かりがあり切り替えできない)が認められたため、当該操作スイッチを交換。	GIII	11月10日
3	補助ボイラー	補助ボイラー給水タンク補給水流量調節弁入口弁(A)(B)軸封部において、腐食により軸封部からの漏えい(滴水は非放射性水)が認められたため、当該軸封部を点検・修理。 応急処置として補給水流量調節弁入口弁(A)は、軸封部の増締めを実施し滴下は停止。同入口弁(B)は、軸封部の腐食が著しく増締めできないため弁の下部(滲み程度)に受け皿を設置。 なお、入口弁(A)(B)とも弁動作状況に異常はなく補助ボイラー給水タンク補給機能に影響はない。	GIII	11月11日
4	その他	モニター建屋送風機給気処理装置室の扉において、腐食による穴開き(約2cm×2cm)及び当該箇所からの空気の吸い込みが認められたため、当該扉を交換。 応急処置として補修テープによる補修を実施し、空気の吸い込みは停止。 なお、モニター建屋は非管理区域であるため、放射性物質の系外放出の影響はない。	GIII	11月10日